

InstallShield 2024 Express Edition リリースノート

オリジナル リリース 2024 年 7 月、R2 を含むアップデート リリース (2025 年 1 月)

はじめに	2
強化機能	2
InstallShield 2024 R2 Express Edition	2
InstallShield 2024 R1 Express Edition	3
重要な情報	3
同時接続ライセンス ユーザーは、FlexNet Licensing Server ソフトウェアのアップデートが必要	4
InstallShield Express Edition の評価	4
InstallShield および InstallShield のアドオンのインストール、および再配布可能ファイルを取得する	4
InstallShield の複数エディションをインストールする	5
InstallShield の複数バージョンをインストールする	5
[アップデート通知] ビューの削除	5
[リリース] ビューから [.NET/J#] タブおよび [MSI エンジンを含める] オプションを削除	5
プロジェクトのアップグレードに関するアラート	6
InstallShield の以前のバージョンで作成されたプロジェクトのアップグレードに関する一般情報	6
ターゲット システムとしてサポートされている Windows のバージョン リストに関する変更	6
文字列のローカライズに関する考慮	7
バグ修正	7
InstallShield 2024 R2 Express Edition	7
InstallShield 2024 R1 Express Edition	8
システム要件	8
InstallShield Express Edition を実行するシステム	8
ターゲット システムの要件	9
既知の問題	10
法的情報	11

はじめに

InstallShield は、ハイクオリティな Windows Installer ベースのインストールをオーサリングするための業界標準ツールです。

InstallShield 2024 Express Edition では、最新テクノロジーを手軽に使用できるようにする新しい機能、強化機能、およびバグ修正も提供されています。

強化機能

InstallShield 2024 Express Edition には、次のような新しい強化機能が含まれています。

- [InstallShield 2024 R2 Express Edition](#)
- [InstallShield 2024 R1 Express Edition](#)

InstallShield 2024 R2 Express Edition

InstallShield 2024 R2 Express Edition には、次のような新しい強化機能が含まれています：

- [カスタム署名ツールの構成でプロパティ名を指定できる機能](#)
- [新しい Microsoft ASP.NET Core 前提条件のサポート](#)
- [InstallShield サポートファイルにデジタル署名を行う機能](#)
- [Windows Server 2025 のサポート](#)

カスタム署名ツールの構成でプロパティ名を指定できる機能

InstallShield 2024 R2 Express Edition では、カスタム署名ツールの構成時に、[メディア] ビューの [リリース] エクスプローラに表示されるリリースの [署名] タブにある [引数] 設定でプロパティ名を指定できます。”引数”設定でプロパティ名を指定するとき、次の規則に従う必要があります。

- プロパティ名は、プロジェクトの [プロパティ マネージャー] ビューで定義する必要があります。
- ”引数”設定でプロパティ名を使用するには、角括弧 ([]) で囲む必要があります。



メモ この変更は ISDEV-43923 として記録されています。

新しい Microsoft ASP.NET Core 前提条件のサポート

InstallShield 2024 R2 Express Edition では、Microsoft ASP.NET Core 8.0 Runtime (v8.0.8)-Windows ホスティング バンドルという新しい前提条件が導入されました。この前提条件は、[アプリケーション データ] ビューの [再配布可能ファイル] エクスプローラに表示されます。



メモ この変更は ISDEV-43895 として記録されています。

InstallShield サポートファイルにデジタル署名を行う機能

InstallShield 2024 R2 Express Edition では、[メディア] ビューの [リリース] エクスプローラー内に表示されるリリースで、[署名] タブの [パッケージ内のファイルに署名] 設定により、InstallShield Express Edition サポート ファイルにデジタル署名するサポートが追加されました。

[パッケージ内のファイルに署名] 設定により、[サポートファイル] ビューで構成された InstallShield サポートファイル（英語、言語非依存、および詳細ファイル）を含む、インストール プロセス中にのみ使用されるすべてのファイルにデジタル署名できます。



メモ この変更は ISDEV-43800 として記録されています。

Windows Server 2025 のサポート

InstallShield 2024 R2 Express Edition を使って、Windows Server 2025 のインストール条件を構成することができます。



メモ この問題は ISDEV-44144 として記録されています。

InstallShield 2024 R1 Express Edition

InstallShield 2024 R1 Express Edition には、次の強化機能が含まれています：

- ・ コマンドラインを使って EV/OV トークン パスワードを指定できる機能

コマンドラインを使って EV/OV トークン パスワードを指定できる機能

InstallShield 2024 R1 Express Edition では、cert_password を使って EV/OV トークン パスワードを指定することができます。これは、コマンドライン ビルドでプロジェクトに含まれるファイルに署名を行うためのオプションのパラメーターです。



メモ この変更は ISDEV-43922 として記録されています。

重要な情報

InstallShield 2024 R1 Express Edition リリースに関する次の重要な情報に注意してください：

- ・ 同時接続ライセンス ユーザーは、FlexNet Licensing Server ソフトウェアのアップデートが必要
- ・ InstallShield Express Edition の評価
- ・ InstallShield および InstallShield のアドオンのインストール、および再配布可能ファイルを取得する
- ・ InstallShield の複数エディションをインストールする
- ・ InstallShield の複数バージョンをインストールする
- ・ [アップデート通知] ビューの削除

- ・ [\[リリース\]](#) ビューから [\[.NET/J#\]](#) タブおよび [\[MSI エンジンを含める\]](#) オプションを削除

同時接続ライセンス ユーザーは、FlexNet Licensing Server ソフトウェアのアップデートが必要

InstallShield Express Edition の同時接続ライセンスを使用する場合、InstallShield 2024 Express Edition を使用する前にライセンス サーバー上の FlexNet Licensing Server ソフトウェアのバージョンをアップデートする必要があります。

InstallShield Express Edition の以前のバージョンと共に出荷された FlexNet Licensing Server ソフトウェアのバージョンでは、InstallShield 2024 Express Edition のライセンスを管理することはできません。これらのライセンスが使用可能な場合でも、InstallShield 2024 Express Edition は古いバージョンのライセンス サーバーからライセンスをチェック アウトしません。



メモ FlexNet Licensing Server ソフトウェア v11.19.0 で、InstallShield 2023 Express Edition および InstallShield 2024 Express Edition のライセンスを管理することができます。InstallShield 2023 Express Edition から InstallShield 2024 Express Edition にアップグレードすると、既存する FlexNet Licensing Server ソフトウェア v11.19.0 を使用できるようになります。InstallShield 2021 Express Edition 以前のバージョンからアップグレードする場合、FlexNet Licensing Server ソフトウェアを v11.19.0 にアップグレードする必要があります。

FlexNet Licensing Server ソフトウェアの最新版は、[Revenera 製品 & ライセンス センター](#)からダウンロードできます。

FlexNet Licensing Server ソフトウェアのインストール手順については、「[同時接続ライセンス用のライセンス サーバーを設定する](#)」を参照してください。

InstallShield Express Edition の評価

InstallShield Express Edition のライセンスを購入していなくても、InstallShield Express Edition をインストールしてアクティベーションを行わず、またはライセンス サーバーに接続せずに一定の期間使用することができます。アクティベーションを行わず、またはライセンス サーバーに接続せずに使用すると、InstallShield Express Edition は一部の機能が制限された評価モードで起動します。詳細については、「[InstallShield 評価版の機能制限について](#)」を参照してください。評価版の制限は、InstallShield Express Edition がアクティベートされたとき、またはライセンス サーバーに接続して、そのライセンスがチェック アウトされたときに解除されます。

InstallShield および InstallShield のアドオンのインストール、および再配布可能ファイルを取得する

次のインストールは、[\[InstallShield のダウンロードおよびライセンスの使用\]](#) に記述されている通り、Revenera 製品 & ライセンス センターからダウンロードが可能です:

- ・ InstallShield
- ・ 再配布可能ファイル (例えば、InstallShield 前提条件および InstallScript オブジェクト)

- ・ Standalone Build、および InstallShield MSI ツールなどのアドオン（使用可能な場合）
- ・ FlexNet Licensing Server ソフトウェア（同時接続ライセンスを購入した場合で、組織のライセンスサーバーを設定する必要がある場合）
- ・ スキン カスタマイズ キット
- ・ InstallScript オブジェクトのテンプレート
- ・ InstallShield サービス パック（使用可能な場合）

InstallShield の複数エディションをインストールする

InstallShield 2024 のどれか 1 つのエディション（Premier、Professional、または Express）を同じシステムに同時にインストールすることができます。また、InstallShield 2024 DIM Editor を、InstallShield 2024 の任意のエディションが搭載されている同じマシン上にインストールすることはできません。

Microsoft Visual Studio の統合は 1 回につき InstallShield の 1 バージョンとのみ可能です。システムで最後にインストールまたは修復された InstallShield のバージョンが Visual Studio の統合に使用されます。

InstallShield の複数バージョンをインストールする

InstallShield 2024 Express Edition は、同じマシン上で別のバージョンの InstallShield と共存することができます。

InstallShield 2024 Express Edition Standalone Build は、別のバージョンの Standalone Build と同じマシン上に同時にインストールすることができます。ほとんどの場合、InstallShield がインストールされているマシン上に Standalone Build がインストールされることはありません。InstallShield と Standalone Build を同じマシン上にインストールしてオートメーション インターフェイスを使用するには、InstallShield ヘルプ ライブラリの「[Standalone Build と InstallShield を同一のマシン上にインストールする](#)」を参照して、特別な登録およびアンインストールについて考慮すべき点に留意してください。

[アップデート通知] ビューの削除

InstallShield 2021 R1 より、FlexNet Connect を統合して InstallShield を使ってアップデートを確認できる、アップデート通知機能のサポートが終了しました。この統合で使用されたマージモジュールは、今回より InstallShield にバンドルされていません。これまでにこの統合機能をご利用いただいたお客様には、以前の InstallShield インストールからマージ モジュールをコピーして、引き続き同じ機能をご利用いただくことができます。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

[リリース] ビューから [NET/J#] タブおよび [MSI エンジンを含める] オプションを削除

[インストール デザイナー] の [メディア] ビューに表示される [リリース] エクスプローラーで、[NET/J#] タブおよび [MSI エンジンを含む] オプションには .NET 1.1/2.0、Windows Installer 3.1 および J# 再配布可能ファイルのサポートが提供されていました。これらの古いテクノロジーは、Microsoft によるサポートが停止されました。そのため、InstallShield 2024 Express Edition で、[インストール デザイン] にある [メディア] ビューの [リリース エクスプローラー] から [NET/J#] タブおよび [Include MSI

Engine] オプション（並びに .NET 1.1/2.0 Core Language および .NET 1.1/2.0 Language Packs ダイアログボックス）が削除されました。InstallShield 2024 ビルド タスクは、古いバージョンのプロジェクト ファイルでこれらのオプションが検出されても無視します。

プロジェクトのアップグレードに関するアラート

以下は、InstallShield 2016 および以前のバージョンで作成されたプロジェクトを InstallShield 2024 にアップグレードする際に発生する可能性のある問題についての情報です。また、新しい InstallShield 2024 プロジェクトと InstallShield 2016 および以前のバージョンから InstallShield 2024 にアップグレードされたプロジェクト間の潜在的な動作の違いについてもアラートします。

- [InstallShield の以前のバージョンで作成されたプロジェクトのアップグレードに関する一般情報](#)
- [ターゲット システムとしてサポートされている Windows のバージョン リストに関する変更](#)
- [文字列のローカライズに関する考慮](#)

InstallShield の以前のバージョンで作成されたプロジェクトのアップグレードに関する一般情報

InstallShield Express Edition で変換が行われる前に、例えば .777 (.ism プロジェクトの場合) または .2016 (.issuite プロジェクトの場合) というファイル拡張子が付加されたプロジェクトのバックアップ コピーが作成されます。以前のバージョンの InstallShield Express Edition でこのプロジェクトを再度開く場合、元のプロジェクトのファイル名から .777 または .2016 を取り除いてください。InstallShield 2024 プロジェクトを以前のバージョンの InstallShield Express Edition で開くことはできません。

次のバージョンの InstallShield Express Edition で作成したプロジェクトを InstallShield 2024 Express Edition にアップグレードすることができます: InstallShield 2016 Express Edition 以前、InstallShield 12 以前、InstallShield DevStudio、InstallShield Professional 7 以前、および InstallShield Developer 8 以前

InstallShield MultiPlatform または InstallShield Universal で作成されたプロジェクトは InstallShield 2024 にアップグレードすることはできませんので、ご注意ください。

ターゲット システムとしてサポートされている Windows のバージョン リストに関する変更

すべてのプロジェクトの種類に関して、InstallShield Express Edition で作成されたインストールを実行するためにターゲット システム上で必要な最小 Windows バージョンは、Windows 7 および Windows Server 2008 R2 です。

文字列のローカライズに関する考慮

InstallShield 2016 Express Edition から、ローカライズ済み文字列の検出と受け渡しに関する変更が行われました。たとえば、無効な文字のまわりに角括弧が付けられたローカライズ済み文字列のコンテンツは、ビルド時の警告またはエラーを引き起こします。そのため、インストールの作成作業中に次の新しい警告やエラーが発生する場合があります。

エラー/警告番号	メッセージ	トラブルシューティング情報
-7355	文字列 %2 の値 %4 は、テーブル %1 列 %3 の検証基準を満たしていません。	この警告は、ローカライズされた文字列が文字列エディター テーブル内の列の検証基準を満たしていない時に発生します。この警告を解決するには、文字列エディター内のフラグされた値を更新してください。
-7354	文字列 %2 の値 %4 は、テーブル %1 列 %3 では使用できません。	このエラーは、ローカライズされた文字列が文字列エディター テーブル内の名前付き列に有効な値が含まれていないときに発生します。このエラーを解決するには、文字列エディター内のフラグされた値を更新してください。

バグ修正

このセクションには、InstallShield Express Edition の以下のバージョンで修正された顧客の問題が掲載されています：

- [InstallShield 2024 R2 Express Edition](#)
- [InstallShield 2024 R1 Express Edition](#)

InstallShield 2024 R2 Express Edition

InstallShield 2024 R2 Express Edition では、次の問題が解決されています。

問題番号	問題の概要
ISDEV-44146	[テキストファイルの変更] ビューでこれらのプロパティを使用するときに、MSIHiddenPropertiesプロパティで定義された名前の値がプレーンテキストとして記録されないようにすることに失敗しました。この問題は解決されました。
ISDEV-44009	Visual Studio 2022 の VSSolutionFolder パス変数がソリューション フォルダーのパスで更新されず、基本の MSI プロジェクトで未定義とマークされました。この問題は解決されました。
ISDEV-43756	InstallShield 2023 R2 Express Edition を 32 ビット プラットフォーム上にインストールするときにエラーが発生しました。この問題は解決されました。

問題番号	問題の概要
ISDEV-42603	CNG 証明書を使って Swidtag.xml ファイルに署名を行うと、次のメッセージとともにエラーが発生しました: ISDEV : エラー -1027: 署名に失敗 regid.2000 08.com.reverena_BDC3653D-36B2-4E2F-A7B6-9C2BF12E6278.swidtag この問題は解決されました。

InstallShield 2024 R1 Express Edition

InstallShield 2024 R1 Express Edition では、次の問題が解決されています。

問題番号	問題の概要
ISDEV-43799	"署名の種類" 設定が [カスタム] オプションに設定されている場合、 "パッケージ内のファイルに署名する" 設定がパッケージ ペイロード ファイルにデジタル署名をするとき失敗します。この問題は解決されました。
ISDEV-42676	InstallShield 事故登録 (ISSelfReg) メソッドを使って、プロジェクト内の .dll ファイルを登録すると、脆弱性の原因となりました。この問題は解決されました。
ISDEV-41935	再起動後、インストーラーに含まれている前提条件のために、temp フォルダからファイルが削除されませんでした。この問題は解決されました。

システム要件

このセクションでは、InstallShield Express Edition で作成されたインストールを実行するターゲット システム (ランタイム環境) の要件、ならびに InstallShield Express Edition を実行するために必要なシステム (オーサリング環境) の要件が説明されています。

- [InstallShield Express Edition を実行するシステム](#)
- [ターゲット システムの要件](#)

InstallShield Express Edition を実行するシステム

InstallShield Express Edition は、これらのオペレーティング システムの最も新しいパッチおよびサービス パックが適用されている最新版で実行します。

項目	説明
プロセッサ	Pentium III クラスの PC (500 MHz 以上を推奨)
RAM	1 GB の RAM (2 GB 推奨)

項目	説明
ハードディスク	1 GB 空き領域
ディスプレイ	1024 x 768 (XGA) 以上の解像度
オペレーティング システム	- Windows Server 2012 R2 - Windows 10 - Windows Server 2016 - Windows Server 2019 - Windows 11 - Windows Server 2022 - Windows Server 2025
権限	システムの管理者権限
マウス	Microsoft IntelliMouse、またはその他の互換性があるポインティング デバイス
InstallShield と Visual Studio との統合 (オプション)	次のバージョンの Microsoft Visual Studio を InstallShield Premier Edition または InstallShield Professional Edition に統合することができます: - Visual Studio 2012 - Visual Studio 2013 - Visual Studio 2015 - Visual Studio 2017 - Visual Studio 2019 - Visual Studio 2022 Visual Studio のこれらのバージョンの以下のエディションは、InstallShield Premier または Professional Edition に統合することができます: - Professional - Premium - Ultimate - Enterprise

ターゲット システムの要件

ターゲットシステムで次の最小オペレーティング システム要件を満たす必要があります:

- Windows 7
- Windows Server 2008 R2

- ・ Windows 8
- ・ Windows Server 2012
- ・ Windows Server 8.1
- ・ Windows Server 2012 R2
- ・ Windows 10
- ・ Windows Server 2016
- ・ Windows Server 2019
- ・ Windows 11
- ・ Windows Server 2022
- ・ Windows Server 2025

ターゲット システムで、SSE2 インストラクション セットがサポートされていることが必須です。

既知の問題

InstallShield 2024 Express Edition の既知の問題はありません。

法的情報

著作権情報

Copyright © 2025 Flexera Software

この出版物には、Flexera Software およびそのライセンサーによって所有されている機密情報、創造的な製作物が含まれています。本出版物の一部または全部を、Flexera Software からの事前の書面による明示的許可なしに、使用、複製、出版、配布、表示、改変または転載することはいかなる形態または手段を問わず厳重に禁止いたします。Flexera Software によって書面で明示されている場合を除き、この出版物の所有は、禁反言、黙示などによっても、Flexera Software が所有するいかなる知的財産権の下、ライセンスまたは権利を一切付与するものではありません。

本テクノロジーおよびそれに関する情報のすべての複製は Flexera Software より許可されている場合に限り、著作権および所有権に関する通知を完全な形で表示しなければなりません。

知的財産

Flexera Software が所有する商標および特許の一覧は、<https://www.reverera.com/legal/intellectual-property.html> を参照してください。フレクセラ・ソフトウェア製品、製品ドキュメント、およびマーケティング資料で言及されているその他すべてのブランドおよび製品名は、各社の商標または登録商標です。

(米国内向け) 制限付権利に関する表示

本ソフトウェアは商業用コンピュータ ソフトウェアです。本ソフトウェアのユーザーまたはライセンス許可対象者が米国政府の代理、部署、その他の関連機関の場合、ソフトウェアまたは技術データおよびマニュアルを含むすべての関連文書の使用、複写、複製、開示、変更、公開、または譲渡に関して、ライセンス契約または本契約の条項ならびに民生機関については連邦調達規則第 12.212 条または軍事機関については国防連邦調達規則補遺第 227.7202 条による制限が適用されます。本ソフトウェアは完全に自費で開発されたものです。その他一切の使用は禁止されています。